令和４年度　学校関係者評価報告書

令和５年３月３１日

学校法人　金沢科学技術学園

（専）金沢科学技術大学校

学校関係者評価委員会

Ⅰ.令和４年度　学校関係者評価について

学校法人金沢科学技術学園　（専）金沢科学技術大学校は、文部科学省が平成２５年３月に策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って教職員が実施した「令和４年度自己点検･自己評価報告書」の結果に基づき、令和５年３月２４日（金)、学校関係者評価委員会を開催しましたので、次のとおり報告します。

Ⅱ．学校関係者評価委員会 委員名簿

委員氏名	関　　連
喜多　　充	高等学校関係者
織田　岳郎	地元企業関係者
飯田　三郎	業界団体関係者
前多　俊弥	1997 年度学校卒業者
智口　明美	保護者代表

Ⅲ．現状･課題と関係者評価･意見

１．教育理念･目標･育成人材像

（１）自己評価結果

【4：適切　3：ほぼ適切　2：やや適切　1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
②	学校における職業教育の特色として挙げられるものがあるか	4
③	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を描いているか	4
④	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生や父母等に周知されているか	3

（２）現状

①教育活動方針に定め、全教職員がその達成に向けて取り組んでいます。

②工業系の総合専門学校として社会に貢献できる心豊かで逞しい人間性を兼ね備えた技術者の育成を教育目標とし、専門教育の充実、資格取得の推進、進路指導及び学生指導の充実を教育活動の柱としています。

③令和５年度より自動車工学科に１級コースを新設するなど、社会経済のニーズ等をいち早く捉え、学習内容に取り入れていくように努めています。

④学生に対しては年度初めのオリエンテーションをはじめ年間を通じて周知できる状況にありますが、直接お会いする機会が限られている父母等への周知については十分とは言えない状況と考えています。

（３）課題と改善策

④父母等への周知については、まず、父母等が多く出席される入学式において理事長の告辞、校長の式辞を通じて本校の理念等をしっかりとお伝えしていきたいと考えています。

（４）委員の意見等

社会の激しい変化に伴い、求められる人材もまた変化する。社会のニーズに対応した人材を育てられるようカリキュラムの検討等に引き続きの努めていただきたい。新設の自動車工学科１級コースにも大いに期待している。

２．学校運営

（１）自己評価結果

【4：適切　3：ほぼ適切　2：やや適切　1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	学校の運営方針は明確に定められ、教職員に明示され、伝わっているか	3
②	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③	運営方針を基にした各種諸規定や、人事・給与に関する諸規定は整備されているか	4
④	運営組織や意思決定機能は、規則等で明確に位置づけられ有効に機能しているか	3
⑤	教育活動に対する情報公開が適切になされているか	4
⑥	情報システム化等による、業務の効率化が図られているか	3

（２）現状

①本校の教育を取り巻く諸情勢を踏まえた運営方針を年度当初において全体会議で常勤教職員に周知し、同様に各学科が行う学科会議において非常勤講師への周知に努めています。

②運営方針に基づき事業計画を策定しています。

③人事･給与については、就業規則並びに賃金規定を整備し、適正に行っています。特に就業規則等については政府の方針「働き方改革」による労働法の改正に併せて

常に見直しを図るように努めています。

④組織図及び職務分掌表に基づき、権限･義務･責任を設け、意思決定機能の明確化を図っています。

⑤当校のホームページにおいて、自己点検･自己評価、学校関係者評価を年１回更新するとともに、学校概要や教育方針についても公表しています。またホームページのKistトピックスで日々の教育活動を情報発信しています。

⑥当校独自の学生管理システムにより、学生個々のデータ（成績、出席、他）を管理し、在学生や卒業生からの種々の証明書などの発行を滞りなく行っています。また就職管理システムにより企業求人データの適切な管理と内定率等の情報を内外の関係部署に発信しています。

（３）課題と改善策

①年度当初の学科ごとの会議に欠席した非常勤講師に対しての周知がやや欠けていると思われる面があり、直接伝えることのできない場合は文書等で周知を図っていきたいと考えています。

④各学科と関係部署とがこまめに情報共有、共通認識を図り、適切な意思決定を行っていますが、毎月１回開催される学科長会議等を通じてさらに組織の強化を図っていきたいと考えています。

⑥就職管理システムについては、学生･保護者、企業、学校の３者間での相互のデータ活用となるため、Ｗｅｂを使った新しいシステムを検討し、積極的に学内のＤＸ化を図って行きたいと考えています。

（４）委員の意見等

業務の効率化を進めることは、教員の負担軽減とともに学校の教育力を一層高めることにつながる。業務全般において可能なところから取り組んでいただきたい。

３．教育活動

（１）自己評価結果

【4：適切　3：ほぼ適切　2：やや適切　1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	教育理念に沿って、教育カリキュラムや授業内容が編成されているか	4
②	修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4

③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
⑤	関連分野の関係施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
⑦	成績評価･単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑧	人材育成目標の達成に向け、授業要件を備えた教員を確保しているか	4
⑨	先端的な知識･技術等を修得するための研修や教員の資質向上のための取組が行われているか	3
⑩	職員の能力開発のための職場内研修は行われているか	3

（２）現状

①教育理念に基づいた教育活動方針、学科教育方針、また学科会議を通しての講師の提言も踏まえ、豊かな人間性と実践的な知識･技術が取得できるカリキュラムを編成しています。

②学生に身に着けさせたいスキルを明確にしたうえで、各教科のシラバスを編成し、授業時間の確保と社会のニーズに即した授業内容で、育成する学生像に到達できるように努めています。

③カリキュラムは学科教育方針に基づき、実習を重視しつつ、講義と実習が体系的に学習できるように編成しています。

④実務経験や知識が豊富な講師の視点も重要視し、実践に即したカリキュラムや教育方法の工夫を行っています。

⑤関連分野の関係団体と関わりの深い講師等の意見を取り入れるなど、毎年カリキュラムの見直し等を図っています。

⑥授業評価の実施･評価体制については、昨年度と同様に今年度も学生によるアンケート（学校評価アンケート）を実施しました。

⑦「金沢科学技術大学校学則･施行細則」により明確に定めています。

⑧学生が国家試験の受験資格を得るため、必要となる有資格者教員を法規に従い確保しています。またそれが必要でない学科については、教員としての資質、能力、指導力、人間性を備えた人材の確保に努めています。

⑨関連分野の関係施設が実施する技術研修会などに参加し、技術や技能の向上に努めています。

⑩今年度は常勤職員全員を対象に１１月下旬から１２月上旬かけて３回の職場内研修を実施し、各学科の取り組み、課題、方策等について認識を深めることができま

した。また、大村はま著書の「灯し続けることば」を常勤職員および非常勤講師全員に月１回程度読んでもらうことで、学校教育における指導者の在り方について各々に考えてもらう機会をつくっています。

（３）課題と改善策

⑥授業評価の目的は、授業改善に結びつけていくことであり、その点の検証をどのように行えるか考えていく必要があります。

⑨長期の研修に参加することは現実的には難しいため、今後も参加可能な短期研修に積極的に参加するよう促していきたいと考えています。

⑩常勤職員、非常勤職員ともに指導者としての自己研鑽に励むことを怠ってはならず、時間的な制約はありますが、職員の意見も取り入れながら可能な限り職場内研修に取り組んでいきたいと考えています。

（４）委員の意見等

教育活動の質の向上には優秀な指導者が必須であり、関係者や関係団体等とのネットワークを活用し、引き続き必要な指導者の確保に努めていただきたい。今年度実施した職場内研修のように各学科間の相互理解を深めることは学校の組織力アップにもつながると思われるので継続して取り組んでもらいたい。

４．学生指導

（１）自己評価結果

【4：適切　3：ほぼ適切　2：やや適切　1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	基本的生活習慣の確立のための取組が行われているか	3
②	学生の安全管理のための取組等が行われているのか	3

（２）現状

①日々の授業態度の中で、生活の乱れより生ずると思われる怠惰や居眠り等の兆候がうかがえ、且つ、それが顕著である場合には、本人、保護者を交えた三者面談等を行い、改善を促しています。

②急な災害に備え、学生と教職員による全校体制での避難訓練を２年に１度は実施するようにしています。コロナ感染拡大の影響で２年間中止せざるを得ませんでしたが、今年度は３年ぶりに実施することができました。今回は特別に消防署の方にも参加いただいての実施となり、全体的に緊張感を持って行う事が出来たと思います。

（３）課題と改善策

①基本的生活習慣の確立が十分とはいえない一部の学生に対しては、引き続き学生課と各学科長を中心に改善に向けて粘り強く指導していきます。また、学生全体に対しても機会あるごとに基本的生活習慣の大切さを説いていきたいと考えています。

②災害安全については避難訓練に加え、地震が起きた場合の対応訓練等も今後実施していきたいと考えています。また、日常の生活安全や交通安全については、学校全体で年間を通じて安全管理に取り組むとともに、学生に対しての注意喚起を行っていきたいと考えています。

（４）委員の意見等

基本的生活習慣の確立については学業と同様、根気強く指導をお願いしたい。状況によっては父母等との連携も必要であろうかと思う。新型コロナウイルスの感染拡大によって学校もいろいろな苦労があったことと思うが、今後も適切な対応をお願いしたい。

５．教育成果

（１）自己評価結果

【4：適切　3：ほぼ適切　2：やや適切　1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	就職率の向上が図られているか	3
②	資格取得率の向上が図られているか	3
③	退学率の低減が図られているか	3
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3

（２）現状

①企業訪問や就職説明会の実施、また各公的団体が実施する就職情報交換会への参加を通して情報収集に努めるとともに、就職課と各学科長や担任が連携して、学生個々の適性を重視した就職支援を行い、就職率の向上を目指しています。

②学科ごとに取得目標資格を掲げ、それに向けて計画的な指導を実施しています。

③日々の授業態度に注意し、欠席が続くなどの兆候があれば、保護者を交えた三者面談を行うなど退学防止に努めています。

④卒業生の活躍については、学校案内誌に掲載して広く知らせるように努めています。また、在学生についても設計コンペで入選した作品を本校玄関ロビーに展示するなどその活躍を紹介しています。

（３）課題と改善策

①学生の希望と企業の希望が必ずしも一致しないケースや、例えばコロナ禍のような社会状況によっては特定の分野の求人が減少し、学生の希望する求人を紹介できなかったりする場合もありましたが、学生個々の希望と適正をしっかりと把握し、きめ細かな就職指導・支援に努めていきたいと考えています。

②資格取得は専門知識やスキルが身につくだけではなく、考え方や視野が広がり、自分の可能性を高めるなどのメリットがあり、学生自らが向上心を持ってチャレンジしていくよう促していきたいと考えています。

③授業態度も良く、何の問題もないと思われた学生が急にやる気を失うケース（学校生活以外の問題によるもの）や、学力不足を理由に努力向上を放棄してしまう学生、また経済的に勉学を続ける事が難しい学生など、退学理由は様々でありますが、できるだけ早期に退学につながるような兆候を発見し、保護者等とも連携しながら学生をケアしていきたいと考えています。

④卒業生、在校生の活躍はお互いの励みとなり学校全体に良い影響を与えるため、今後もできうる限り活躍を把握し共有していきたいと考えています。

（４）委員の意見等

それぞれの項目における学校の取り組みを評価したい。今後も学生ひとりひとりに親身になって対応していただきたい。学生交流イベント等を通して学生同士の仲間意識が高まり、それが退学率の低減につながることも期待する。

６．学生支援

（１）自己評価結果

【4：適切　3：ほぼ適切　2：やや適切　1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	進路・就職に対する支援体制は整備されているか	4
②	学生相談に対する体制は整備され、有効に機能しているか	3
③	学生に対する経済的な支援体制は整備され、有効に機能しているか	4
④	学生の健康管理を担う組織体制は整備され、有効に機能しているか	3
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
⑥	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4
⑦	保護者と適切に連携しているか	3
⑧	卒業生への支援体制はあるか	3

（２）現状

①就職課に調査・報告係と就職指導係を置き、各学科長、副学科長および担任と連携した組織的支援体制を整備しています。

②各課、各学科および担任が連携しながら学生の様々な相談に対応しています。

③当校独自の特待生制度による授業料の減免や、学納金の分納について個別に応じるなどの支援を行っています。また 2021 年 4 月より高等教育就学支援制度（授業料減免）対象校として文部科学省の指定を得ており、住民税非課税世帯及びこれに準ずる世帯の学生については授業料や入学金の免除または減額措置を受けられるようになっています。さらに、昨年度からのコロナ感染拡大によって、政府から学生の学びを継続するための給付金が学生支援機構を通して給付されています。

④学生課が医療専門機関と連絡を取り合い、毎年、全学生を対象とした学生健康診断を実施し、診断結果に対して医療専門機関よりサポートされる体制をとっています。また、コロナについては県の方針に準じた本校の方針を定め、学校全体で統一した対応がとれるよう体制を整備しました。

⑤広報課が主催する学生交流イベントや自動車工学科の２＆４クラブなどの課外活動に対して活動費の予算措置を講じています。

⑥通学が困難な学生に対して学生寮を用意しています。各部屋にはエアコン、机、椅子、冷蔵庫、ベッドなどの物品が備わっており、洗濯機や乾燥機などについては共用としています。また学内には食堂があり、外部の業者が食事を提供しています。

⑦必要に応じて電話やメール、あるいは対面で情報共有等を行うなど連携を図っています。

⑧卒業生の再就職相談等についての支援を行っています。

（３）課題と改善策

②学生の多種多様な相談に対する体制がさらに有効に機能していくためには、職員間のより一層の連携が必要であると考えています。

④コロナへの対応の中で学生自身の健康管理に対する意識は向上しているように思われます。今後も疾病等に対する予防、早期発見、早期対応はもとより、食事、運動、休養等を含め適切な生活習慣に努めるよう学校全体で学生に指導してきたいと考えています。

⑤自主的、自発的な参加によって行われる課外活動は学業意欲の向上や連帯感の涵養等に資するものでありますので、引き続きその支援を行っていきたいと考えています。

⑦成年年齢の引き下げにより、学生は父母等の同意を必要とすることなく単独で退学等の許可を得ることなどが可能となりましたが、いまだ成長の過程にあり支援が必要な学生でありますので、引き続き父母等との情報共有、共通認識をしっかりと図

っていきたいと考えています。

⑧現在の支援体制は卒業生からのアクションがあった場合に限定され、これをさらに広げていけるのかどうか検討していくことも視野に入れていきたいと考えています。

（４）委員の意見等

今後も教職員全体で学生の自立を促しつつ、様々な支援に取り組んでいただきたい。

７．教育環境

（１）自己評価結果

【4：適切　3：ほぼ適切　2：やや適切　1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
②	学外実習等について十分な教育体制を整備しているか	4
③	防災に対する体制は整備されているか	4

（２）現状

①施設･設備については、就職した際に企業が使用している機材を難なく使いこなせるように、現場に即した実習機材を極力揃えることが必要であり、毎年各学科から導入機材の希望リストを提出してもらい、計画的に順次整備しています。

②学外実習（インターンシップ）については、就職課、各学科と学生が協議し、必要に応じ企業側の協力を得て実施しています。なお、学外実習中の事故に備え2年生はインターンシップ保険に加入しています。

③総務課に防災・安全係を置き、全職員で防災対策に関する事項や点検体制の明確化および異常箇所の処理に関する事項に取り組んでいます。

（３）課題と改善策

引き続き教育環境の整備に努めます。

（４）委員の意見等

各業界の進歩に合わせて実習機材を更新し教育環境を整備していくことは大変だと認識しているが引き続き努力していただきたい。いつ起こるかわからない災害への備えに対しては、関係機関とも連携し、定期的なチェックが重要である

と思う。

８．学生の受け入れ募集

（１）自己評価結果

【4：適切　3：ほぼ適切　2：やや適切　1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	学生募集活動は、適正に行われているか	4
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
③	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
④	学納金は妥当なものになっているか	4

（２）現状

①学生募集は広報課を中心に年間を通じて計画的且つ柔軟に実施しています。高校訪問や高校生向けガイダンスをはじめ、ホームページ、テレビＣＭ、学校案内誌、さらには進学情報サイト等によって本校の情報を正しく伝えるなど適正に行っています。

②教育成果については、高校訪問などの機会に先生方に伝え、各高校でのガイダンスや本校で開催している体験入学会において直接生徒等に伝えています。また、ホームページ等を通じ、広く一般の方に対しても教育成果が伝えられるよう努めています。

③受験区分には学校長推薦、自己推薦、上級課程、社会人、一般および特待生入試があり、全区分において書類審査と面接を行い、これに加えて適性検査、基礎学力検査を行っている区分があります。検査終了後、会議を開き、適正かつ公平な基準に基づき入学選考を行っています。

④他の工業系の専門学校と比較しても、適正な金額であると考えています。

（３）課題と改善策

②高校訪問や各高校でのガイダンスでは時間的な制約もあり、教育成果について十分に伝えられないこともあります。高校生等に時間をかけて直接伝えられるのは毎月開催している体験入学会と思われますので、今後は３年生はもちろん、２年生や１年生にも数多く参加していただくように高校側に働きかけていきたいと考えています。

（４）委員の意見等

今後の急速な少子化により、学生数を確保することがさらに困難になると予想

される。まずは学校の教育力を向上させていくこと、そしてその教育力を含め学校の魅力をしっかりと伝えていく工夫ぶ努めていただきたい。

９．財務

（１）自己評価結果

【4：適切　3：ほぼ適切　2：やや適切　1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③	財務について、会計監査が適正に行われているか	4
④	財務情報公開の体制整備はできているか	4

（２）現状

①現在、中長期的に見て経営基盤は安定しており、今後も学生数の確保に努め、健全な財務状況を維持したいと思います。

②毎年の事業計画に基づき、適切な予算組を行い、それに沿った事業を行っています。

③選任された監事２名による監査が毎年実施され、監査報告書が作成されています。

④令和３年度より高等教育支援機関対象校となったため、財務の情報公開を実施しています。

（３）課題と改善策

今後の少子化による学生数減を見越したうえで、中長期的な財務収支のバランスを考えていく一方、学生確保のための教育体制や就職体制のさらなる強化が必要であると考えています。

（４）委員の意見等

自己評価が示すとおり、学校の財務状況に不安な点は見受けられないが、今後の少子化を見据え、適切に改善等を進めていただきたい。

１０．法令等の順守

（１）自己評価結果

【4：適切　3：ほぼ適切　2：やや適切　1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4

②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
④	自己点検・自己評価結果を公表しているか	4

（２）現状

①法令及び専修学校設置基準を遵守し、各法令に準拠した適正な学校運営を行っています。

②個人情報については、厳正に管理しています。また、今年度から万が一の場合に備え、「サイバー保険」に加入しました。

③毎年度、自己点検･自己評価を実施し、課題等を明らかにするとともに問題点を洗い出し、改善に取り組んでいます。

④法令により公表が義務付けられており、学校のホームページにて公開しています。

（３）課題と改善策

引き続き法令順守等を徹底し、健全な学校運営に努めます。

（４）委員の意見等

引き続き適正な学校運営をお願いしたい。

１１．社会貢献・地域貢献

（１）自己評価結果

【4：適切　3：ほぼ適切　2：やや適切　1：不適切】

番号	評価項目	評価
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献･地域貢献を行っているか	3
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
③	地域に対する公開講座・出張講座・教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	3

（２）現状

①各種検定の実施会場として、あるいは職業教育に関連した体験学習の場として本校の施設を活用していただいています。

②学生課を中心にボランティア活動の奨励・支援を行っています。今年度も「山代大田楽」の記録撮影ボランティアをさせていただきました。山代温泉観光協会等の主催者からの依頼を受けての活動ですが、毎回学生たちの学びにつながっています。

ほかにも金沢市内のごみ拾い活動にも参加予定でしたがコロナ感染拡大のため急きょ参加を取りやめました。

③「夏休み体験講座 2022 学びフェスタ」において、中学生を対象に講座「自動車・エンジンの仕組みを知ろう」を開催しました。今年度は３８名の応募者の中から１０名が選ばれ、自動車工学科の教員等がマンツーマンで指導しました。

（３）課題と改善策

①本校の行事に支障のない範囲で施設開放などを通じて社会貢献・地域貢献をしていきたいと考えています。

②休日であってもアルバイト等で忙しい学生が多く、ボランティア活動に参加しにくい状況だと思われます。そうした中でも学生にはボランティア活動の意義を理解させ自主的な活動を促していきたいと考えています。

③大好評を得ているこの講座以外にも開講できるものがないか検討していくことも考えています。

（４）委員の意見等

通常の授業以外にもこうした取り組みを行っていることを評価したい。今後も可能な範囲で社会貢献・地域貢献に努めていただきたい。